

仕事の幅が広がると責任も大きいです。



なるためには

- 必要資格 / 臨床工学技士
- 主な進路 / 高校卒業→臨床工学技士の養成課程のある大学に進学→医学と工学の基礎を学ぶ→国家試験に合格し、臨床工学技士を取得→病院に就職

中沖 麻由佳さん(1996年生まれ)

岡崎城西高校 出身

中部大学 生命健康科学部 臨床工学科卒業

JA 愛知厚生連 安城更生病院

安城市安城町東広畔28

<https://anjokosei.jp/>

ー学生時代

「もともと医療系の道に進みたいと思っていたのですが、いろんな媒体を見て調べるなかで、臨床工学技士という職業を知りました。あまり知られていない職業なので、最初は『どんな仕事なんだろ?』と興味をもった感じです。医療機器を扱う仕事で工学の知識も必要だということがわかったのですが、当時は私は理系科目の勉強が大の苦手。でも、責任が大きい分やりがいも感じられると思い、「頑張って挑戦しよう!」と、中部大学臨床工学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「生理学や解剖学、電気・電子・機械工学など、医学と工学分野の両面を基礎から学びました。大学で基盤をしっかりと学ぶことができたので、仕事をするうえでも応用でできていると思います。人工心肺装置や人工呼吸器、人工透析装置などの医療機器がどのように役割をして体に影響を与えるのかを学び、病院実習では実際にどのように使われているのかも見て学ぶことができました。壁にぶつかることも多かったです。がいたので、わからないことは教え合いながら頑張ることができました。みんながいたから国家試験にも無事に合格して卒業できたと思います」

ー仕事について

「大学卒業後、安城更生病院に就職しました。私の仕事は、専門知識をもつた相談できる仲間

がいるので、わからないことは教え合いでいる。自分がいたから国家試験にも無事に合格して卒業できたと思います」

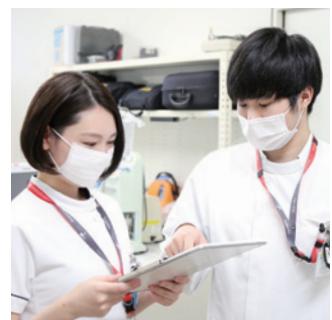
ーやりがい

「人の命に関わる仕事なので、常に责任感をもって取り組んでいます。任される仕事の幅が広がると責任が無事に終わったときの達成感は大きいですね。自身の成長を感じます。よかつたと思える瞬間です」

ーなるためには

「養成課程のある大学に進学し、国家資格の臨床工学技士資格を取得することが第一歩です。私が進学した中部大学は総合大学なので、医学系だけではなく、いろんな学部の学生と関わって刺激をもらえるところに惹かれて選びました。理系科目が苦手だったり、向向きで挫折する人も見つけましたが、最終的には自分のやる気次第。どれだけ本気で頑張れるかだと思いますよ。高校時代は、今しかできないことを全力で楽しんで思い出をたくさんつくってください!」

ありがとうございました。



18歳 興味をもった臨床工学技士をめざし、中部大学へ進学。

22歳 国家試験に合格し、臨床工学技士を取得。大学卒業後、安城更生病院へ。

24歳 身につけた医学と工学の知識をいかし、医療機器のスペシャリストとして日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



金田 奈己さん(1998年生まれ)
藤ノ花女子高校 出身
名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 卒業

株式会社ブレス
豊橋市柱四番町14-1
<https://www.bless1956.com/>

なるためには

●必要資格 /
ブライダルコーディネート技能検定 ※必須ではない
●主な進路 / 高校卒業→ブライダル関係の専門学校に進学→
ブライダルコーディネート技能検定を取得→結婚式場に就職

人のしあわせをよろこべる人であれば、誰でも活躍できる業界。

ー学生時代

「高校時代は授業もしっかり受けつつ、友達ともたくさん遊びました。ブライダル業界に興味をもつたのは中学生のとき。最初はネリリストやケーキ屋さんに興味があったのですが、ネットで職業調べるうちに『人のしあわせをお手伝いできる仕事』ってすてきだなど、この仕事を憧れをもつようになりました」

専門時代のことを教えてください。

「名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校に進学し、アナウンスから企画演出までブライダルの知識を勉強しました。生徒同士でドレスを着あつたり、ブライダルメイクをしあつたりする授業もありました。中でも思い出に残っているのは、人の関わり方や人間性を学んだこと。先生が家族のように厳しくもあたたかく接してくれる方だったので、メンタル面が成長したと思います」

ー仕事について

「結婚式場『エール・フォルトゥナ』を運営する株式会社ブレスに就職しました。最初に任されるのは、式場やサロンの掃除から。その後、あいさつやお辞儀の仕方、言葉づかいなどを先輩に教わりました。お客様との打ち合わせを任せてもらえるのは、夏くらいからです。それまでは、ゲストをお迎えするドアマン。荷物を預かるクローケーク。お客様のドリンク出しなどを担当しながら、空き時間に先輩にお願いして『ロープレ(ロールプレイング)』をおこなう日々でした」

ーなるためには

「私は専門学生のときに、国家資格である**ブライダルコーディネート技能検定**を取得しました。でもブライダル業界は資格が必須なわけではありません。やる気のある人、人のしあわせをよろこべる人であれば、誰でも活躍できると思います。あとは、流行に敏感であることも大切。結婚式のトレンドはすぐに変わるので、SNSで流行をキャッチしたり、海外のウエディング情報を取り入れたりしています。最後に、高校生のみなさんは、いまを全力で楽しんでください！」

「ありがとうございます！」



15歳 ネットで職業について調べるうちに、ブライダル業界に興味をもつ。

20歳 名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校に進み、専門知識を学ぶ。

21歳 新郎新婦の理想に最大限応えられるウエディングプランナーをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





みんなが過ごしやすい環境を整える。

友澤 佐紀さん(1992年生まれ)
安城高校 出身
愛知大学 現代中国学部卒業

友澤木工株式会社
刈谷市野田町新田23
<http://www.tomozawa.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、中国の言語や歴史について学ぶ→木製品の製造販売をおこなう企業に就職→総務部に配属

――**学生時代**

「高校時代に意識していたのは、勉強と部活の両立です。放送部に入っていた、学校行事に合わせて放送をしたり、大会に出たりしたことが思い出に残っています。一方で、テストが終わったら友達とカラオケに行って遊んだりと楽しい高校生活でした。高校卒業後、愛知大学現代中国学部に進学しました。中国語を選んだのは、英語以外の新しい言語を遊びたいと思ったから。まずは、中国語の文法や発音などを基礎から学びました。4ヶ月間の中国留学も経験し、徐々に耳も慣れて中国語で会話ができるようになっていきました。中国での生活は思ったより快適で楽しかったです。留学を通して積極性が身についたと思います」

――**仕事について**

「25歳のとき、木製ベッドや木製品の製造販売をおこなう友澤木工で働きはじめました。総務経理部に配属され、まずは労働基準法や社会保険など労務関係の知識を勉強しました。最初は商品知識がまったくないのに、質問されてもわからないことだらけ…。一気に覚えるのは無理！」と煮詰まっていたとき、専務からの「わからないときは、ほかの人の知識を使ってもいい。人に助け合いかながら仕事を進めることの大切さを実感しました」

――**やりがい**

「専務に『これってどうなってる？』と聞かれ、「手配済みです！」と答えられたとき。仕事を予測して先回りできたときは自身の成長を感じます。いろんな仕事を任されていることを実感できてうれしいですね」

――**なるためには**

「人を観察することが好きな人、いろいろなことに気づける人に向いている仕事だと思います。あとは、相手の立場に立って物事を考えられることも大切です。高校時代、将来のビジョンはありませんでしたが、「なんとなく語学が好き」という気持ちはまだあります。語学が好きなことや興味のあることを見つけてください。それはたくさんあっても問題ありません。大学の4年間で、やりたいことや興味があることを明確にしていけばいいと思いますよ！」

――**ありがとうございました。**



19歳 語学に興味をもち、愛知大学現代中国学部に進学。

↓

25歳 友澤木工に就職。総務経理部に配属され、自社製品や労務の知識を学ぶ。

↓

27歳 社員やお客様から、「気持ちのいい会社だな」と思ってもらえるよう日々の仕事に取り組んでいます。

先輩や上司から教わったことは?

「当社のスローガンでもある『根本の大きさを実感しました』

現在の仕事内容を教えてください。

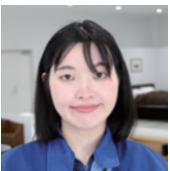
「総務の仕事は、縁の下の力持ちとして、みんなが過ごしやすい社内環境を整えることです。たとえば、常に社内がきれいな状態に保たれているのも、石鹼などの備品が補充されているのも、みんなが気づかなければ気が付かないことです。これがいい」と思っているから。「これくらい」って思っているのでも、働く社員や来社されるお客様のことを考えて「気持ちのいい会社だな」と思ってもらえるよう日々の仕事に取り組んでいます」

先輩や上司から教わったことは?

「当社のスローガンでもある『根本の大きさを実感しました』

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





やり遂げたときの達成感は大きいです。

長期間にわたる仕事なので、

藤本 昂さん(1996年生まれ)
豊橋工業高校出身

株式会社アイ・エス・ジェイ
豊橋市山田二番町93-15
<http://www.isj.jp/>

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 工業高校で機械設計などを学ぶ→高校卒業→自動車部品の設計・開発をおこなう企業に就職→機械設計の部署に配属

「私が工業関係の仕事を就いていたこともあり、漠然と将来は製造業で働きたいと思っていました。豊橋工業高校の機械科に進んだのもそのため。授業では、材料特性や設計について、工作機械の使い方などを学びました。実際に機械を使ってバーツを加工し、簡単なピアノを組み立てる実習もありました。危険物取扱者のなどの資格も取得しました。機械加工の基礎を学んでいたので、使用するソフトは違いましたが、仕事の飲み込みは早かったと思います」

「主に自動車の電源供給や信号通信に用いられるワイヤーハーネスに付属するさまざまな構成部品の設計開発をおこなうアイ・エス・ジェイに就職しました。高卒で入社したので、入社当初は『社会人』というものがわかつていませんでした。礼儀や敬語の大切さを実感しましたし、いくらいいいモノが作れたとしても、人と接する態度ができるいないと社会人としては失格だということもありました」

最初に任された仕事は?

「1年目は、技術支援事業部の機械設計に配属されました。最初に学ぶのは、設計で使用するCATIAという3次元CADソフトの使い方から。まず先輩の図面作成の手伝いからはじめり、徐々にひとつつの図面を任せられるようになっていきました。苦労したのは、作業ベースの配分。1年目は初めてのことばかり

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 工業高校で機械設計などを学ぶ→高校卒業→自動車部品の設計・開発をおこなう企業に就職→機械設計の部署に配属

—学生時代

「父が工業関係の仕事を就いていたこともあり、漠然と将来は製造業で働きたいと思っていました。豊橋工業高校の機械科に進んだのもそのため。授業では、材料特性や設計について、工作機械の使い方などを学びました。実際に機械を使ってバーツを加工し、簡単なピアノを組み立てて、危険物取扱者のなどの資格も取得しました。機械加工の基礎を学んでいたので、使用するソフトは違いましたが、仕事の飲み込みは早かったと思います」

「主に自動車の電源供給や信号通信に用いられるワイヤーハーネスに付属するさまざまな構成部品の設計開発をおこなうアイ・エス・ジェイに就職しました。高卒で入社したので、入社当初は『社会人』というものがわかつていませんでした。礼儀や敬語の大切さを実感しましたし、いくらいいいモノが作れたとしても、人と接する態度ができるいないと社会人としては失格だということもありました」

最初に任された仕事は?

「1年目は、技術支援事業部の機械設計に配属されました。最初に学ぶのは、設計で使用するCATIAという3次元CADソフトの使い方から。まず先輩の図面作成の手伝いからはじめり、徐々にひとつつの図面を任せられるようになっていきました。苦労したのは、作業ベースの配分。1年目は初めてのことばかり

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」

「一つひとつ仕事を、いつまでに仕上げようという目標があります。いま担当している仕事だと、それが年単位。最初から関わってきて、力がかかるようになります。」

「一つひとつ仕事を、いつまでに仕上げようという目標があります。いま担当している仕事だと、それが年単位。最初から関わってきて、力がかかるようになります。」

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」

—なるためには

—なるためには



18歳 材料特性や設計について、工作機械の使い方などを学ぶ。

19歳 アイ・エス・ジェイに就職。3次元CADソフトの使い方などを学ぶ。

23歳 現在は後輩を指導する立場に。説明される側からする側になり、成長を実感。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>



「機械設計に関する資格をもつていると仕事に役立ちますが、特に必須資格はありません。入社後の研修や指導が充実しているので、文系出身の人もたくさん働いています。やる気さえあれば問題ないと思いますよ。社会人と高校生は、年が近かつたとしてもまったく違うステージです。切り替えは大変ですが、一度社会に出てしまえば誰でもちょっとずつ社会人の生活が普通になります。今までできることを高校生のうちににしてほしいです！」

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」

「私が担当しているのは、自動車のボンネットの中にあるリレー・ボックスという部品。中身から外装までカタチを作っていく仕事です。最初にざっくりとした仕様書がお客様から届くので、それに対して提案と修正を繰り返していくきます。図面がまとまってきたら、実物を作つて耐久性などをチェック。問題がなければ設計した図面をもとに量産メーカーに製品を製造してもらいます。」



平田 千智さん (1999年生まれ)

岡崎商業高校 出身

慈恵福祉保育専門学校 卒業

みやこ第二幼稚園

岡崎市宮地町柳畠 58-3
<https://ssl.aoyamagakuen.com/>

●必要資格 / 幼稚園教諭、保育士

●主な進路 / 高校卒業→幼稚園教諭の養成課程がある専門学校、短大、大学に進学→幼稚園教諭免許、保育士資格を取得→幼稚園に勤務

なるためには

「ハンドボールをやつしていく、部活に励む毎日でした。練習は大変でしたが、いま振り返ると楽しかった思い出しかないですね。幼稚園教諭をめざしたのは私が幼稚園児のとき。仲のいい友達が転校しちゃって悲しかったときに、ずっと私の話を聞いて寄り添ってくれた先生がいたんです。そんな先生に私もなりたいと憧れを抱いたのがきっかけです」

専門時代のこと教えてください。

少人数で授業をおこなうため、手厚いサポート体制が整っているところに慈恵の魅力を感じました。実際、体験入学のときから先生方は親身になって相談に乗ってくれました。入学後は第二のお母さんみたいを感じ。いろんなことを相談しました。この仕事は、ただ子どもを楽ませればいいのではなく、専門知識が求められます。成長過程や環境に合わせた接し方、障がいについてなどを学びました。子どもの行動には泣くのにも怒るのにも理由があるんです。ただその場をおさめるだけではだめ。根本の部分、理由を理解して接する大切さも学びました」

——仕事について

現在はみやこ第二幼稚園で働いています。行事の練習のときなど、どういう風に声をかけたら子どもたちに『やろう!』と思つてもらえたのか、最初は声かけの仕方に悩みました。そこで意識したのは、「先生がその行事を一番楽しみにしている」という気持ちが伝わる振る舞い

最初は泣きながら登園してきた子が、「幼稚園楽しい。行きたい!」先生大好き!」って言つてくれたり、少しすつ子ともたちのできることが増えていくことにやりがいを感じます。きゅうり嫌いの子がちょっとだったら一緒に食べてくれたり、『家だと絶対に食べない。先生と一緒に食べるんです』という声をお

い。「先生楽しそうだから自分もやりたい!」と思つてもらえるよう、常に全力の笑顔を心がけています」

現在の仕事内容を教えてください。

現在の仕事内容を教えてください。鉛筆の持ち方を教えたり、絵を描いたり、楽器の練習をしたり、日々の学びや制作を通して、子どもと一緒に成長できる仕事です。私も、普段から相手の立場に立つて物事を考えられるようになりますし、人前で堂々と話せるようになります」

この仕事は、毎日いろんな出来事が起こります。日々、自分の足りない部分に気づけることもこの仕事の魅力。あとは、子どもたち一人ひとりが輝ける場所を探してあげることも私の役割だと思います」

——やりがい

——なるためには

「養成課程のある専門学校、短大、大学に進学し、幼稚園教諭免許、**保育士資格**を取得するのが一般的です。興味がある生徒は、ぜひ体験入学に参加してみてください。私は、体験入学で慈恵の先生や先輩のあたたかさや雰囲気にふれ、進学先を選択しました。高校時代が一番自由で楽しい時期だと思ったら、いろんなことを挑戦してみてください。卒業して専門的な勉強をしたり就職したりすると、限られた道を進むことになります。高校時代は、いろんなことをトライできるチャンスですよ!」

ありがとうございます! 」



18歳

20歳

21歳

部活に熱中した高校時代。チームスポーツを通して協調性などを養う。

慈恵福祉保育専門学校に進み、保育の基礎を学ぶ。さまざまな施設での実習も経験。

年中クラスの担任を任される。日々の活動を通じ、自分自身の成長も実感!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

環境を守るために街をキレイにする、社会貢献の側面も大きい仕事。

小野田 聖也さん(1997年生まれ)
桜丘高校 出身
豊橋創造大学 保健医療学部卒業

株式会社明輝クリーナー
豊橋市若松町中山101-34
<http://meiki-c.com/>

●必要資格 / 中型免許 ※入社後に取得
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→廃棄物の収集・処理をおこなう企業に就職→中型免許を取得

一 学生時代
「高校時代は野球部に所属し、部活漬けの毎日。部員が多くてなかなかレギュラーに選ばれない状況でしたが、最後まであきらめずに頑張れただことがいまの自信につながっています。スポーツクラブチームのトレーナーをめざし、豊橋創造大学理学療法学科に進学しました」

大学時代について教えてください。
「筋肉や関節の動きを分析してリハビリプランを考えるなど、理学療法士に必要な知識や技術を学びました。国家試験に合格して理学療法士免許も取得したのですが、めざしていたスポーツ選手のトレーナーになれるのはほんの一握りで狭き門だという現状を知り、一般企業に切り替えて就職活動をしました。卒業後、入社したのは廃棄物の収集・処理をおこなう明輝クリーナー。体を動かす仕事がしたいという思いもありましたし、説明会の雰囲気に惹かれて入社を決めました。事業説明をする企業がほとんどでしたが、当社はミニゲームやディスカッションが中心で、他社と比べてもブースがすごく盛り上がっていたんです」

一 仕事について
「入社後廃棄物処理に関する法律、廃棄物の種類や分別などを学びました。社会に出ると、自分ひとりのミスが会社全体のミスになってしまいます。逆にいいことをすれば会社のイメージや雰囲気がプラスに。一人ひとりが責任感をもつて仕事を取り組む大切さを教わりました」

現在の仕事内容を教えてください。
「一言で言うと、地球環境を守るために街をキレイにする仕事。社会貢献の側面も大きい仕事だと思います。ごみは、人が生活をするうえで必然的に出てくるもの。私たちがいなければ、街がごみだらけになり、環境汚染が進んでしまいますからね。ごみは、プラスチックや金属、ガラスなどの産業廃棄物とそれ以外の一般廃棄物に大きく分かれます。現在私が担当しているのは、オフィスや飲食店などの事業所から出るボックスからごみを収集して資源化センターへ運びます」

やりがい
「お客様からの『今日もありがとう』という声がやりがいです。みなさんのが快適な環境で生活できるよう、これからも頑張ろうという気持ちになります。私が担当しているエリアも昔は不法投棄がよくあつたといふ話を聞きます。私たちがしっかりと街をキレイにしていきたいです」

18歳 部活を通じ、最後まであきらめない精神力を養う。卒業後、豊橋創造大学へ。
22歳 会社の明るい雰囲気に惹かれ、明輝クリーナーに就職。
23歳 生まれ育った街の環境を守るために、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>

一 なるためには
「私は入社後、ゴミ収集車の運転に必要な中型免許を取得しました。部署によつては、フォーカリフト免許、大型免許を取得する人もいます。当社は、頑張って会社に貢献できれば、その分ちゃんと評価をしてもらえます。もっと経験を積んで、仕事の幅を広げていきたいです。高校時代は、部活や勉強を通して目標に向かって努力することを経験してほしいです。社会に出てからも、新しく覚えることや取り組むことがたくさんあります。何事も全力で努力できる人になつてください!」

ありがとうございました。



三浦 萌香さん(1997年生まれ)

岩津高校 出身
慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校 卒業

豊川市民病院

豊川市八幡町野路23
<https://www.toyokawa-ch-aichi.jp/>

なるためには

●必要資格 / 歯科衛生士

●主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→座学や実習を通して基礎を学ぶ→国家試験に合格し、歯科衛生士の資格を取得→総合病院に就職

患者さんと先生の架け橋になる。
治療がスムーズに進むよう、

高校時代胸を張つて頑張つたと言えるものは勉強です。生活デザイ

ン科で、裁縫や料理、パソコンを総合的に学びました。資格取得にも励み、被服製作検定1級、食物調理技術検定1級などを取得しました。人のために尽くすのが好きいうこともあり、将来は医療現場の仕事に就きたいと思っていました。その中で選んだのは歯科衛生士。卒業後、慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校の歯科衛生士学科に進学しました【専門時代について教えてください】

「1年次は歯や歯ぐきの形態、虫歯や歯周病などの病気について勉強しました。相互実習では、学生同士で歯科衛生士役、患者役をローテーションしておこないます。歯石を取り除くスケーリング、歯磨き指導、フッ素を塗るなどの歯科衛生士の基礎実技を学びました。2年次の途中からは臨床実習が中心。実習先の先生によって使用する道具や薬剤が違うので戸惑いましたが、治療の術式や流れはどの院も一緒だったので、学校で学んだ基礎が役立ちました」

「**ー仕事について**
—
「**ーやりがい**
—
「**ーやりがいを感じるのは、患者さんがどこにあるのか、診療の流れなどを勉強しました。ほかの診療室の様子を見てサポートしたり、先生の気持ちを汲みとつて行動する先輩の姿から、まわりをよく見ることの大**

切さも実感しました」

「**ーやりがいを感じるのは、患者さんがどこにあるのか、診療の流れなどを勉強しました。ほかの診療室の様子を見てサポートしたり、先生の気持ちを汲みとつて行動する先輩の姿から、まわりをよく見ることの大**

切さも実感しました」

「**ー現在の仕事内容を教えてください。**
—
「**ー患者さんの思いを汲みとり、気持ちのいい状態で診療を終えられます**
—
「**ー先生のサポートが中心です。歯科衛生士には、治療がスムーズに進むよう、患者さんと先生の架け橋になることが求められます**
—
「**ーやりがいを感じるのは、患者さんからの『ありがとう』という言葉。患者さんの役に立てたことを実感します。歯磨き指導をしたときに患者さんが新しい発見をしてくれて、それを実践して口腔内がきれいになつていたときもうれしいですね**



18歳

医療の仕事を志し、慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校に進学。

↓
21歳

国家試験に合格し、歯科衛生士資格を取得。豊川市民病院に就職。

↓
23歳

患者さんが気持ちのいい状態で診療を終えられるようにホスピタリティを提供する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

ーなるためには

「3年制の専門学校、短大に進学し、試験に合格して**歯科衛生士**の国家資格を取得する必要があります。」

「高校時代、将来の目標を見つけていたなかつたとしても、勉強だけは頑張つてほしいです。勉強することで、選択の幅や可能性が広がります。高校時代、将来の目標を見つけていたなかつたとしても、勉強だけは頑張つてほしいです。勉強することを身をもつて実感しました。あとは、いろんな人とたくさん話してほしいです。どんな仕事に就くことで、選択の幅や可能性が広がります。」

「高校時代胸を張つて頑張つたと言えるものは勉強です。生活デザイ

ン科で、裁縫や料理、パソコンを総合的に学びました。資格取得にも励み、被服製作検定1級、食物調理技術検定1級などを取得しました。人

のために尽くすのが好きいうこともあり、将来は医療現場の仕事に就きたいと思っていました。その中で選んだのは歯科衛生士。卒業後、慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校の歯科衛生士学科に進学しました【専門時代について教えてください】

「1年次は歯や歯ぐきの形態、虫歯や歯周病などの病気について勉強しました。相互実習では、学生同士で歯科衛生士役、患者役をローテーションしておこないます。歯石を取り除くスケーリング、歯磨き指導、フッ

素を塗るなどの歯科衛生士の基礎実技を学びました。2年次の途中からは臨床実習が中心。実習先の先生によって使用する道具や薬剤が違うので戸惑いましたが、治療の術式や流れはどの院も一緒だったので、学校で学んだ基礎が役立ちました」

「**ーやりがいを感じるのは、患者さんからの『ありがとう』とい**

う』といふ言葉。患者さんの役に立てたことを実感します。歯磨き指導をしたときに患者さんが新しい発見をしてくれて、それを実践して口腔内がきれいになつていたときもうれしいですね

完成までの工程を頭で思い描き、
ビジョン通りに現場を進める。



なるためには

- 必要資格 / 1級施工管理技士
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校または大学に進学し、建築について学ぶ→国家試験に合格し、2級建築士を取得→建築会社に就職→経験を積み、現場監督

横井 隆司 さん(1974年生まれ)

安城南高校 出身
東海工業専門学校 卒業

小原木材株式会社

岡崎市針崎町蓮谷37
<http://obaramokuzai.jp/>

高校時代の思い出は、ハンドボール部のキャプテンを任せられたこと。

個性的な部員が多かったので、相手の性格に合わせて接し方を変えたり、自分の考え方だけを話さず相手の言い分も聞き入れ、どうしたら部員がまとまるかに一番頭を使いました。大工やモノづくりの仕事に憧れがあつたので、卒業後は、東海工業専門学校に進学しました。

専門時代について教えてください。

「設計図の描き方や見方、測量についての知識を学びました。専門学校で学んだことは、いまの基盤になっています。卒業後は、凝った木造建築に携わりたいと思っていましたので、「社名に木材が付いている」という安易な理由で(笑)、小原木材に就職しました。就職前に、試験に合格して2級建築士の国家資格を取得することができました」

――仕事について――

「最初に教わったのは積算です。設計図や仕様書から必要な工事、それに関わる材料とその数量を計算します。木造とRC造では基礎工事がから仕上げまでの内容も違うので、最初は覚えることが多くて大変でした。わからないことが何かもわからない状態。各分野の職人の話を聞きながら、少しずつ仕事の流れを自分なりに掴んでいきました」

現在の仕事内容を教えてください。

「設計事務所が描いた図面から設計士さんの意図を汲み取り、材料の素

材から納まりを決めながら施工図を実感します」

「最初から完成までの工程を頭で思い描き、不具合にも対処しながらビデオ通りに現場が進んでいくと、気持ちがいいですね。建築物が完成した瞬間よりも、みんなが納得して仕事を取り組める環境をつくれたときのほうがやりがいを感じます。」

――学生時代――

「施工管理をするには、1級施工管理技士が必要になります。さらに、1級建築士を取得すると、設計監理ができる」

とが大切です。あとは、固定概念を捨てて、前の事例だけが正解と思わずに、いろんな方法を考えみてください。その積み重ねが知識になります」

「ありがとうございました。」



18歳 ハンドボール部のキャプテンを務め、多くの部員をまとめる。

21歳 2級建築士を取得し、小原木材に入社。少しずつ仕事の流れを覚える。

46歳 各分野の職人と連携し、工程がスムーズに進むように現場の環境を整える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



――なるためには――

常にあるのは、「日常の中のちょっととしたお楽しみになりたい」という思い。



三矢 明子さん (1984年生まれ)

一色高校出身

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→飲食店で、ホール業務や調理を経験
→飲食店に勤務→独立して自身の喫茶店をオープン

喫茶こまさ

西尾市米津町天竺桂65-1

<https://www.instagram.com/kissa.comasa/>

「高校生活は友達と遊んだり楽しめた思い出が多いですね。ごく普通の高校生でしたよ。卒業後は、特別養護老人ホームに就職しました。まわりは専門的な勉強をしてきたけど、就職前にホームヘルパー2級を取得し、働きながら介護福祉士の資格も取得しました。このころから、未知の世界に挑戦する気持ちちはもっていましたんだと思います(笑)」

飲食業界に関わるきっかけは?
 「介護職時代の先輩の旦那さんから、「飲食イベントをやるから手伝つて」と誘われたのがきっかけ。それ以来、休日を利用して移動販売の手伝いをするようになりました。たくさんの人が集まるいろんなイベントに出店するのは楽しかったですね。徐々に飲食業界に惹かれていくました。そのタイミングで『店舗を作るから一緒にやらないか?』って誘われたんです。それを機に仕事を辞め、カフェ(ぞうめし屋)の店長として働きはじめました」

| 仕事について

「それまで飲食店で働いたこともなかったので、研修として知り合いのお店で働かせてもらいました。ホールや料理の盛り付け、スイーツ作りなどを経験しました。カフェで3年間働いて独立し、縁があつて『喫茶こまさ』をオープンしました。インスタグラムなどSNSの反響もあり、いろんなお客様に来ていただいている

| やりがい
 「月1回、こまさに来ることが自分のご褒美なんです」と言つてくれます。常連さんがいるんですね。「おいしいごはんメニューを考えています」



18歳

30歳

36歳

販売実績年

特別養護老人ホームに就職。20代半ばごろから、並行して移動販売の手伝いも始める。

介護職を辞め、飲食店で店長として働きはじめた。33歳のときに独立し、喫茶こまさをオープン。

おいしいごはんやスイーツ、ドリンクを通じ、日常のお楽しみを提供!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

| 学生時代

| なるためには

「高校生活は友達と遊んだり楽しめた思い出が多いですね。ごく普通の高校生でしたよ。卒業後は、特別養護老人ホームに就職しました。まわりは専門的な勉強をしてきたけど、就職前にホームヘルパー2級を取得し、働きながら介護福祉士の資格も取得しました。このころから、未知の世界に挑戦する気持ちちはもっていましたんだと思います(笑)」

お店を始めて大変だったことは?
 「料理の仕込みや食材の買い出し、調理からお会計、洗い物まですべて私がおこなっています。さらには、売上の管理、掃除や店内のお花を生けるのも私の仕事。駐車場の草取りも(笑)。ひとりでお店を回すとなると、目に見えない仕事がけつこうあります。いまは外部にお願いできるんですけど、ひとりでも営業でできることがあります。『いろんな人の協力があるから、ひとりでも営業でできる』ことを忘れないようにしています」



仕事内容を簡単に教えてください。
 「地元の食材を使つたごはんや手作りスイーツ、ドリンクを提供し、『日常の中のちょっとしたお楽しみになりたい』という思いでお店を切り盛りしています。毎月来るお客様にもよろこんでもらえるよう、月替わりでごはんメニューを考えています」

ありがとうございました。
 「お手伝いしてもらえて、とても嬉しいです。大人になってから当時を振り返るのもすごく楽しいですよ」

「高校時代は若いときにしかできないことをたくさん経験してくだけ。友達と遊んだり、制服で世界観が好きな人は、働く側には向いていない』って昔の同僚に言われたり。大人になってからできるのは大人になつてからできるので、高校時代は若いときにしかできないことをたくさん経験してくだけ。友達と遊んだり、制服で世界観が好きな人は、働く側には向いていない』って昔の同僚に言われません。『のんびりしたカフェの世界観が好きな人は、働く側には向いていない』って昔の同僚に言わ

「資格よりも経験が大切な業界だと思います。あとは、意外と地味な作業が多いので、華やかな世界を想像しているとギャップがあるかもしれません」

失敗したら終わりではありません。
次はどうすべきかを考えることが大切。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 人事担当者からのメッセージ / 入社後に社員研修をおこなった後、適性を見極め配属されますので安心してください。明るく元気で勤ける人であれば活躍できる環境です。

佐藤 駿一 さん(1991年生まれ)

岡崎聾学校 出身

株式会社デンソー

刈谷市昭和町1-1

<https://www.denso.com/jp/ja/>

「高校時代は卓球をやっていた
た。ダブルスではお互いの弱点をカバーしたり、動きを見ながら合わせたりすることでチームワークの大切さを学びました。仲間と協力して目標に向かっていくことは仕事を同じで、現在は職場のメンバーとともに目標達成に向けて頑張っています。私の母が昔デンソーで働いたこともあり、当社に興味をもちました。自分で調べたり、デンソーで働いている先輩から話を聞いたりするなかで、デンソーでは聴覚障がい者がたくさん活躍していることを知り、その環境が私に合っていると思つたのが入社のきっかけです」

――仕事について
「入社当初はコミュニケーションが上手にとれず、伝えたいことが伝えられずに苦労することが多々ありました。休憩時間も使って自分から積極的にコミュニケーションをとり、「おはようございます」や「お疲れ様です」と手話でいいさつをすることで徐々に慣れていきました。現在の仕事内容を教えてください。」

「自動車を電子制御する環境にやさしいクリーン・ディーゼルエンジンのECU（エンジン・コントロールユニット）を主に製造しています。私は、基板・部品の組付から検査を担当しています。納入先メーカーは13社と多く、防水・非防水の製品が混合する品種がたくさんあるので、一つひとつチェックを間違えないように実施しています。」

「自分の仕事が評価され、『ありがとうございます』といった言葉をいつも『おめでとう』といつた言葉をいふこと実感でき、やりがいを感じます。2019年に開催されたアビリンピック（※）で電子機器組付の種目で銀賞を取得でき、支えてくれた職場や家族、指導者のみなさんに恩返しきできたときもうれしかったです」

――やりがい
「自分の仕事が評価され、『ありがとうございます』といふこと実感でき、やりがいを感じます。2019年に開催されたアビリン

ピック（※）で電子機器組付の種目で銀賞を取得でき、支えてくれた職場や家族、指導者のみなさんに恩返しきできたときもうれしかったです」

「心がけていることは?」
「心がけていることが3つあります。1つ目は、お客様に100%良品を届けることです。不良品をひとつでも流してしまって、お客様から会社の信頼がなくなります。2つ目は、常にレベルの高い目標をもつて仕事をすることです。今の仕事に満足せず、ひとつでも作業のムダがあればすぐ上司に報告して改善に取り組んだり、先輩の仕事から積極的に学んだりして自分のスキルを上げています。3つ目は安全に対する意識です。職場では設備メンテの際に溶剤を使用しているのですが、保護具着用や決められたルールを遵守し、事故やケガがないよう安全への高い意識を心がけています」



ー学生時代

ーメッセージ

「私の目標は、職場を率いる立場になることです。今後、新人や若い人がどんどん入ってきます。その人に的確な指導やサポートができるよう、自分の足りない知識やスキルを学びながら目標を一つひとつクリアして頑張っていきたいです。高校生のみなさんには、何事もあきらめない気持ちをもつてほしいです。失敗したら終わりではありません。失敗したら、次はどうすればいいかを考えることが大切です。その気持ちさえあれば、社会に出ても頑張れると思いますよ」

ありがとうございました。

18歳 卓球に熱中した高校時代。チームワークの大切さを学ぶ。

19歳 聴覚障がい者が大勢活躍していることを知り、自身もデンソーを志望する。

29歳 職場を率いる立場をめざし、知識やスキルを学びながら成長中！

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



困ったときに頼られる存在でありたい。

警察官は正義のヒーロー。



大久保 竜也 さん(1995年生まれ)

桜丘高校 出身
愛知学院大学 法学部卒業

愛知県警察 豊田警察署

豊田市錦町1-59-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→特別警戒隊に配属

「高校生の頃は、バスケットボールに打ち込んでいました。中学ではずっとレギュラーだったのですが、高校では後輩にポジションを奪われたりと、挫折も経験しました。でも投げやりにならずベンチでも自分のできる役割を探してサポートに徹したことばプラスになつたと思います」

「大学時代について教えてください。」

「高校卒業後、愛知学院大学に進学しました。漠然とですが公務員を目指していたので学部は法学部。憲法を始め、刑法や刑事訴訟法などの法律関係について一通り勉強しました。公務員試験対策講座も受け、教養試験対策や直接・論文対策などを試験を受ける人が多かつたのもよかったです。同じ目標を持つ友人たちと集まって情報共有しながら勉強する機会が多く、互いに高め合うことができたと思います」

「警察学校ではどのような経験をしましたか?」

「採用試験に合格後、警察学校へ入校し、法律の知識や無線通話の仕方、逮捕術など、警察官としての基礎を学びました。厳しい部活を通して強い精神力を身に付けたと思っていましたが、重い盾などの装備を持って長時間の駆け足をする警備実施訓練は辛かったです…。しかしみんなで声を掛け合って乗り越えることができました。ここでも仲間の存在が大きかったと思います」

「地域住民の方から頂く感謝の言葉がやりがいです。また、職務質問で犯人を検挙したとき、地域住民の安心安全な生活に貢献できていると誇りに感じます」

「心がけていることは?」

「どんな事案でも冷静な対応をすること。熱くなり過ぎず、何事も俯瞰的に見られるような広い視野を持つことを心がけています」

「地域住民の方から頂く感謝の言葉がやりがいです。また、職務質問で犯人を検挙したとき、地域住民の安心安全な生活に貢献できていると誇りに感じます」

— 学生時代 —

「高校生の頃は、バスケットボールに打ち込んでいました。中学ではずっとレギュラーだったのですが、高校では後輩にポジションを奪われたりと、挫折も経験しました。でも投げやりにならずベンチでも自分のできる役割を探してサポートに徹したことばプラスになつたと思います」

「現在の仕事内容



— なるためには —

「まずは警察官採用試験に合格すること。大学で受講した公務員試験対策講座も役に立ちましたが、最終的には警察官になりたいという気持ちが大事です。あきらめずに頑張ってください。試験合格後は、高卒者は約10ヶ月、大卒者は約6ヶ月、警察学校で基礎を学ぶことになります。高校時代に部活をしている人は部活を頑張ってください。している人は勉強を。今できることを全力で頑張ってほしいです。私も部活に取り組んだ経験が、今の自分につながっていることを実感しています」



19歳

愛知学院大学に進学し、法律について学ぶ。公務員試験対策講座も受講。

↓
22歳

警察官採用試験に合格。警察学校に入校し、逮捕術や心構えなどを学ぶ。

↓
25歳

現在は特別警戒隊として勤務。地域住民の安心安全な生活に貢献する。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

